



## 「いのちの旅」

聖路加国際病院の名誉院長で、文化勲章受章者の日野原重明さんが2017年7月、呼吸不全のため逝去されました。105歳でした。日野原重明さんは、生活習慣病という呼び方を定着させて予防医療に尽力し、患者の人格や意見を尊重する医療の推進に努めた方でした。また、自立して生きる老人の姿を「新老人」と名づけ、75歳以上の自立した老人が集う、「新老人の会」も設立。自身も100歳を超えてなお医師として活躍しました。

このほかにも、終末期医療の充実にも取り組み、日本初の独立型ホスピスを設立し、「いのちの授業」を通して、小中学生に命の尊さを伝えていました。2001年に出版した『生きかた上手』でミリオンセラーを達成。絵本『葉っぱのフレディー』のミュージカルの脚本を執筆するなど、多彩な才能を発揮しました。

日野原さんが、子どもたちに対する「いのちの授業」で、「いのちって何ですか。何と説明しますか。」と問いかけました。皆さんでしたら何と答えるでしょうか。日野原さんが、同じ問いを10歳くらいの子どものに向けたとき、子どもは胸に手を当てて「心臓のこと？」と答えたそうです。「それは違います。心臓は、いのちではなく、単な血液を送るポンプに過ぎません。」では、「いのち」と何か。

日野原さんは答えます。「それは、私たち一人一人が持っている時間のことです。人はそれぞれ限られたいのち＝時間を持つ生き物なのです。いのちは確かに存在するけれども、目で見ることはできません。いのちは、目で見えないものなのです。」「いのち」は時間。私の「いのち」とは、私に与えられた「時間」。

これから輝く未来のある中学生の皆さんは、考えたこともないと思いますが、人は生まれたときから「死」へ向かっているとされています。ラテン語には、「メント・モリ」という言葉があり、「自分が（いつか）必ず死ぬということを忘れるな。」という意味を持っています。残された時間は、年齢等によっても違いますが、その時間こそが、私たちに与えられた「いのち」なのです。こう考えると毎日の「意味」が変わってきます。何をしても、私の「いのち」を費やしていることになり、そう考えると、何にその「いのち」を使うのか、考えてみる必要があります。

日野原さんは、こうも言っています。「大切ないのち、すなわち時間を、自分のためだけに使わず、誰かのために使いましょ。自分のために使う時間と、誰かのために使う時間のバランスは取れていますか。」「自分の「いのち」を自分のために使わず、誰かのために費やしているか。つまり誰かのために生きているか。これは、「誰かのために役立っているか。」という問いでもあります。毎日意識をしていたら、息切れをして疲れてしまうだろうけれども、「いのちは時間」。ときどき思い出したい言葉です。「私は自分のいのちを大切にしているだろうか。相手のいのちに感謝しているだろうか。」「・・・」。

1年間も後期に入り、新生徒会役員や常任委員のメンバーが選任されました。生徒会役員選挙の立ち会い演説会では、志と勇気を持って立候補した皆さんが「田柄中学校をよりよくするために」と力強く全校生徒に呼びかけた演説と立派な態度に感動しました。生徒一人一人が、自分のため、人のために責任を持ち活動をしてほしいと願っています。



日野原さんの名言集より


なんと言っても、人が人に与える最高のものは、心である。他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、人とともにどれだけの時間を分けあったかによって、真の人間としての証がなされる。



3年生は進路を自ら切り拓く取組が進んでいます。自分のために努力しているわけですが、そんな時だからこそ、少し立ち止まって、これから自分はどう生きて人生を送るのだろうか。どういう「時間＝いのち」を使っていくのだろうか。ということを考えることも大切です。そしてこの時、家族・先生・仲間など多くの人に支えられて生きていることに気づくと思います。自分の力を信じて、目標に向かって地道な努力を続けてほしいと思います。

# 生徒・部活動の記録

(敬称略)

<p>連合陸上</p>	<p>9月22日(金)第55回練馬区中学校生徒総合体育大会(陸上競技) 駒沢オリンピック公園陸上競技場にて区立中34校と私立中3校が参加。 総合順位と8位までの入賞者。 ○総合順位 14位(男子順位 13位、女子順位 18位) ○入賞者 (男子) 2年1500m 小倉 蒔励 4分36秒73 3年3000m 佐々木 潤也 10分10秒80 1年100mハードル 工藤 楓磨 18秒41 2年110mハードル 堀 隼矢 19秒30 3年110mジュニアハードル 石井 謙也 18秒55 2年400mリレー 佐藤 由良、斎藤 龍之介 堀 隼矢、天野 銀河 50秒48 3年走り高跳び 山口 志優 1m60cm (女子) 共通800m 岩佐 愛華 2分40分76 共通1500m 瀬谷 衣生 5分24秒01 1年100mハードル 菅原 すみれ 20秒38 2年100mハードル 吉澤 朱里 19秒32 2年400mリレー 稲垣 茜、澁谷 明佑香 吉澤 朱里、石川 翠 56秒11</p>	
<p>陸上部</p>	<p>○9月2日(土)第3回 足立中学校陸上競技選手権大会 女子共通 4×100mリレー 第5位 56秒94 稲垣 茜 須藤 美夏子 加藤 文音 石川 翠 男子2年 4×100mリレー 第6位 50秒20 高橋 優斗 飽田 海音 堀 隼矢 天野 銀河 男子1年 100mh 第3位 工藤 楓磨 19秒05 男子1・2年砲丸投げ 第8位 晴山 侑輝 7m15 男子2年 1500m 第4位 小倉 蒔励 4分37秒86 ○9月16日(土)第2回AFDナイター陸上大会(足立区陸上競技協会) 男子1500m 第1位 小倉 蒔励 4分45秒03 男子1500m 第2位 古川 智也 4分52秒09 男子 800m 第3位 島田 晃大 2分39秒03</p>	
<p>水泳部</p>	<p>○第65回東京都中学校学年別水泳競技大会 2年男子100mバラフライ 第5位 田中 歩 1分01秒25 ○9月8日(金)~11日(月) 日本代表選手 竹葉 智子 第9回アジアエイジグループ選手権(ウズベキスタン・タシケント) 400m個人メドレー 1位 メドレーリレー 1位 800mフリーリレー 1位 200m個人メドレー 2位 400mフリー 2位 200mバラフライ 2位</p>	
<p>ソフトテニス部</p>	<p>9月24日(日)練馬区中学校総合体育大会 女子団体 第3位 個人 第3位 加藤・清水 組</p>	
<p>卓球部</p>	<p>10月8日(日)練馬区民体育大会 中学生の部 男子団体 優勝 女子団体 準優勝 個人 優勝 大山 誉暁 3位 野崎 賢鳳 3位 高畑 尚生</p>	
<p>剣道部</p>	<p>10月8日(日)練馬区中学校新人大会 女子団体 第3位</p>	
<p>吹奏楽部</p>	<p>9月29日 第23回日本管楽合奏コンテスト 中学校A部門 優秀賞</p>	